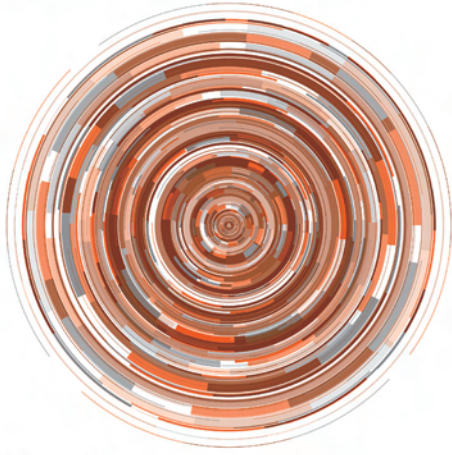


# 【 新刊のご案内 】

## 岐路に立つ 日本のエネルギー戦略

金子祥三・前田正史 編



東京大学生産技術研究所  
エネルギー工学連携研究センター

重要なエネルギーの転換点に来ている日本。  
第一線で活躍する様々な立場の意見を通して、エネルギー戦略の重要性について理解を深めることができる一冊です。

3.11 の東日本大震災と福島第一原子力事故を経験して、日本のエネルギーのあり方が大きく変わろうとしています。

原子力の安全性確保について多くの議論がなされ、地道な取り組みが求められる一方、輸入化石燃料費の高騰によって貿易収支も赤字に転落し、電力料金の値上げによる製造業の国際競争力喪失が懸念されています。また必要な化石燃料は確保できるのか、火力発電の効率向上はなされているのか、再生可能エネルギーは大きく伸ばすことができるのか、またこれらの理想的な組み合わせはいかにあるべきか、などが問われています。

まさに今、日本のエネルギー戦略は岐路に立っているとと言えます。そこで、日本の今後を決めるエネルギー戦略のあるべき姿を考えるシンポジウムが、2013年10月30日に東京大学本郷キャンパス伊藤国際学術研究センターで開かれました。本書はその講演の内容を取りまとめたものです。

### 岐路に立つ日本のエネルギー戦略

発売日：2014年7月15日

定価：1,458円(本体価格1,350円+税)

発行：東京大学 生産技術研究所 エネルギー工学連携研究センター

仕様：B5変型(左右180×天地237mm)、  
128ページ、並製、カバー装、  
フルカラー

発売：株式会社DNP アートコミュニケーションズ  
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20  
TEL：03-6431-3708 / FAX：03-6431-3709

#### 【目次】

##### ●まえがき

前田正史：東京大学理事・副学長／同生産技術研究所教授

##### ●日本のエネルギー戦略のあるべき姿

山地憲治：地球環境産業技術研究機構理事・研究所長／  
東京大学名誉教授

##### ●地球温暖化問題とエネルギー戦略

湯原哲夫：キャノングローバル戦略研究所理事・研究主幹／  
内閣官房参与

##### ●戦略的思考に基づく技術革新

金子祥三：東京大学生産技術研究所 特任教授

##### ●電気事業における火力発電の役割

岩谷全啓：火力原子力発電技術協会会長／  
関西電力株式会社火力事業本部長

##### ●電気事業における発電技術の重要性と展望

相澤善吾：東京電力株式会社 代表執行役副社長

##### ●米国シェール開発の現状について

村井俊朗：米国住友商事株式会社 上級副社長／  
資源エネルギーグループ長

##### ●非在来型石油・ガス開発

渡辺考：Summit Discovery Resources Vice President

##### ●おわりに

金子祥三：東京大学生産技術研究所 特任教授

注文書	<b>岐路に立つ日本のエネルギー戦略</b>	注文数	番線印
	定価：1,458円(本体1,350円+税) ISBN978-4-88752-035-6 株式会社DNP アートコミュニケーションズ		

**FAX: 03-6431-3709** TEL: 03-6431-3708 (株)DNPアートコミュニケーションズ【担当:長谷川・塚原】

ご購入の際は、この注文書をお持ちのうえ書店にてお申込み下さい。また、Amazonでもご購入頂けます。